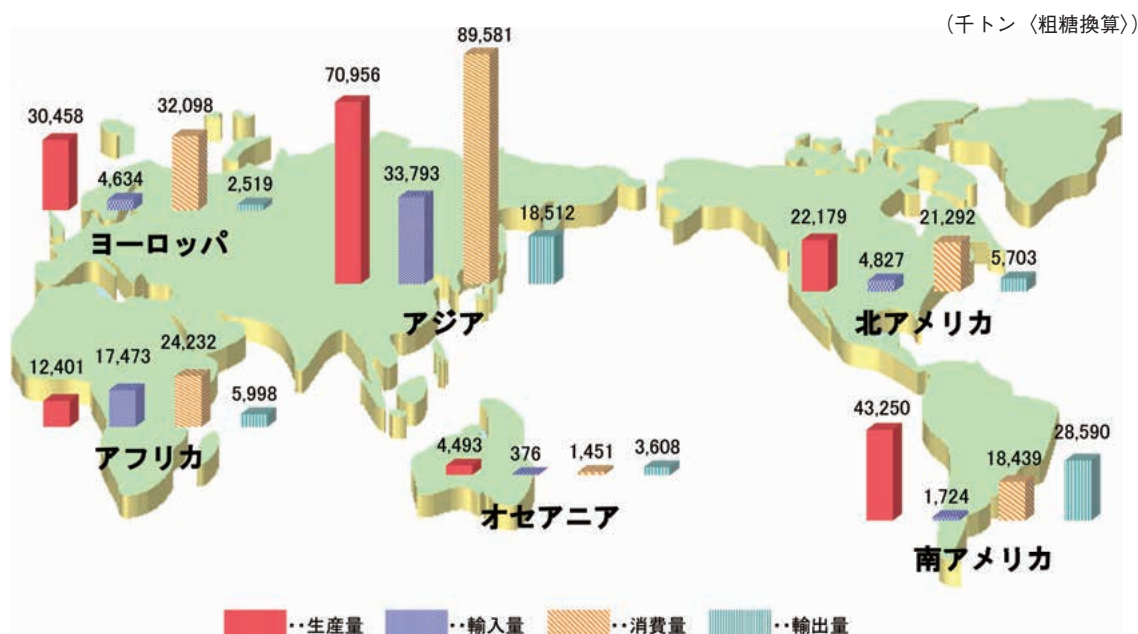


砂糖の国際需給

調査情報部 水野 崇

1. 世界の砂糖需給（2021年9月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別の砂糖需給（2021/22年度予測値）



資料：英国の民間調査会社LMC International「Quarterly Statistical Update, September 2021」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン〈粗糖換算〉、%)

年 度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1991/92	37,165	115,339	30,325	109,187	30,367	43,275	39.6
1996/97	48,284	126,217	34,491	118,126	36,946	53,920	45.6
2001/02	61,989	138,052	42,292	137,347	44,299	60,687	44.2
2006/07	56,404	164,685	46,737	155,847	49,829	62,150	39.9
2011/12	48,128	177,086	56,859	169,637	58,665	53,771	31.7
2016/17	69,822	180,387	70,759	181,369	71,288	68,310	37.7
2017/18	68,310	195,522	65,812	180,831	67,836	80,978	44.8
2018/19	80,978	186,449	61,050	183,930	61,477	83,070	45.2
2019/20	83,070	181,593	69,434	182,323	70,796	80,977	44.4
2020/21	80,977	182,911	64,837	185,059	66,484	77,182	41.7
2021/22 (2021年9月予測)	77,182	183,737	62,827	187,092	64,929	71,725	38.3

資料：LMC International「Quarterly Statistical Update, September 2021」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

注2：2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

「世界の砂糖需給」「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの報告となっていますので、次回は2022年1月号の掲載予定となります。直近の内容は2021年10月号をご参照ください。

「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_002521.html

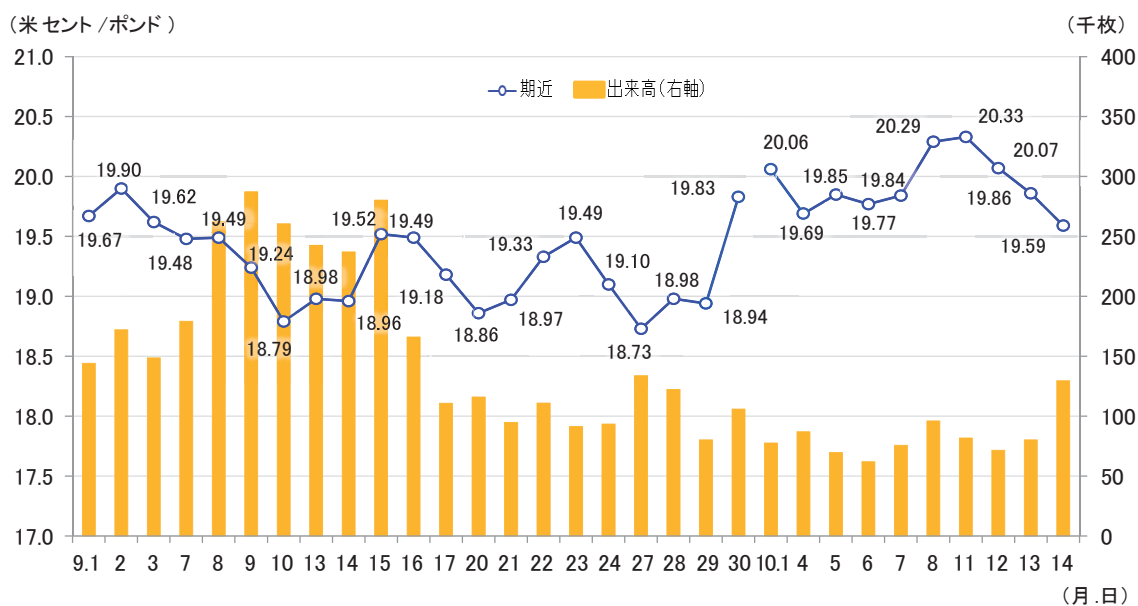
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_002522.html

2. 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（9/1～10/14）

～10月限は19セント後半で期日迎え、3月限は20セント台で始まるも19セント台に下落～

図2 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所（ICE）
注：9月は期近10月限、10月は期近3月限の値。

ニューヨーク粗糖先物相場の2021年9月の推移を見ると（10月限）、1日は、原油価格の動きに影響^{（注1）}を受けて1ポンド当たり19.67セント^{（注2）}まで値を下げた。2日は一旦値を戻したものの、3日以降はブラジルでまとまった降雨が予報されたことやタイの砂糖増産予測などから、8月の20セント台は維持されず、下落傾向で推移した。10日は、ブラジルさとうきび産業協会（UNICA）の発表した8月後半における同国中南部地域の砂糖生産量が前年からわずかに増加したことで、同18.79セントまで下落した。13日は、ブラジルで今後1週間は降雨の確率が低いと予測されたことなどが材料となって、同18.98セントと反転し、15日は、原油価格の上昇を受けて同19.52セントまで値を上げた。20日は、原油価格の下落に伴うエタノール価

格の低下や、ブラジルでの降雨予報により同18.86セントまで値を下げた。22日は、UNICAの発表した9月前半におけるブラジル中南部地域の砂糖生産量が前年から大幅に減少したことで、同19.33セントと値上がりし、23日は、同19.49セントと続伸した。24日は、ブラジルリアル安^{（注3）}などに伴い下落し、27日には同18.73セントまで続落した。30日は、ブラジルの砂糖供給がひっ迫していることなどから、ショートポジションをカバーするために買い戻され^{（注4）}、同19.83セントまで急騰して10月限は納会した。

期近が3月限に切り替わった10月1日は、インドからの豊富な輸出の見通しにより同20.06セントを付けた。4日は、対ドルでのリアルが値下がりしたことなどから、同19.69セントと下落した。8日

は、原油価格の上昇を受けて同20.29セントまで値上がりした。13日は、UNICAの発表した9月後半におけるブラジル中南部地域の砂糖生産量が、事前の予想を上回ったことから、同19.86セントと値下がりし、14日もその流れを受けて同19.59セントと、3日続けて下落した。

(注1) 一般に、原油価格が下落すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も低下する。バイオエタノールの需要低下により、その原料作物(サトウキビ、てん菜など)のバイオエタノール生産への仕向けが減る一方、それらから生産される食品(サトウキビの場合は砂糖)の生産・供給が増

えると想定される。食品用途仕向けの場合合いが大きくなるほど需給が緩和し、当該食品の価格を押し下げる方向に作用する。

(注2) 1ポンドは約453.6グラム、セントは1米ドルの100分の1。

(注3) 粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

(注4) 売買差益を狙い、将来の値下がり期待して売りの持ち高を取っていた金融資産を、決済のために買い戻すこと。

3. 世界の砂糖需給に影響を与える諸国の動向(2021年10月時点予測)

ブラジル

2021/22年度(4月～翌3月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：869万ha(前年度比0.2%減)

生産量：5億7000万トン(同13.3%減)

【砂糖(甘しや糖)】

生産量：3799万トン(同14.8%減)

輸出量：2701万トン(同20.7%減)

2021/22年度の砂糖生産量はかなり大きく、輸出量は大幅に減少する見込み

LMC International(農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)による2021年10月時点の予測によると(以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述)、2021/22年度(4月～翌3月)のサトウキビ収穫面積は、869万ヘクタール(前年度比0.2%減)と横ばいで推移すると見込まれる(表2)。サトウキビ生産量は、中南部地域において乾燥気候が継続している上、7月頃に霜害も発生したことにより、5億7000万トン(同13.3%減)とかなり大きく減少すると見込まれる。砂糖生産量は、原料の減産を受けて3799万トン(粗糖換算(以下、特段の断りがない限り砂糖に係る数量は粗糖換算)、同14.8%減)とかなり大きく減少すると見込まれ

る。輸出量も、砂糖の減産や、コロナ禍における物流の混乱を背景とした海上運賃の上昇を受けて、インドネシアやアフリカ諸国などで同国産の粗糖需要が低下していることから、2701万トン(同20.7%減)と大幅に減少すると見込まれる。

ブラジル中南部でサトウキビ圧搾量の減少が加速

ブラジルさとうきび産業協会(UNICA)が公表した10月1日時点のデータによると、同国のサトウキビ主産地である中南部の製糖工場では、9月後半に3579万トンのサトウキビが圧搾され、前年同期の4038万トンを11.4%下回ったという。

同地域で10月1日まで稼働した製糖工場は225カ所であり、このうち52の工場が10月15日まで

に圧搾を終える予定とされる。すでに9月末までに圧搾を終了した36の工場では、処理したサトウキビの量が前年比で平均24%減少したという。

また、9月後半に圧搾されたサトウキビの約46%が砂糖生産に割り当てられたが、製糖工場が無水エタノール（燃料混合用）の生産に注力したた

め、前年同期の同47%よりも低くなった。これにより、9月後半の砂糖生産量は、前年同期の287万トンを下回る232万トンにとどまり、今年度の砂糖生産総量（9月末時点）は、前年同期比9%減となる2919万トンとなった。

表2 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

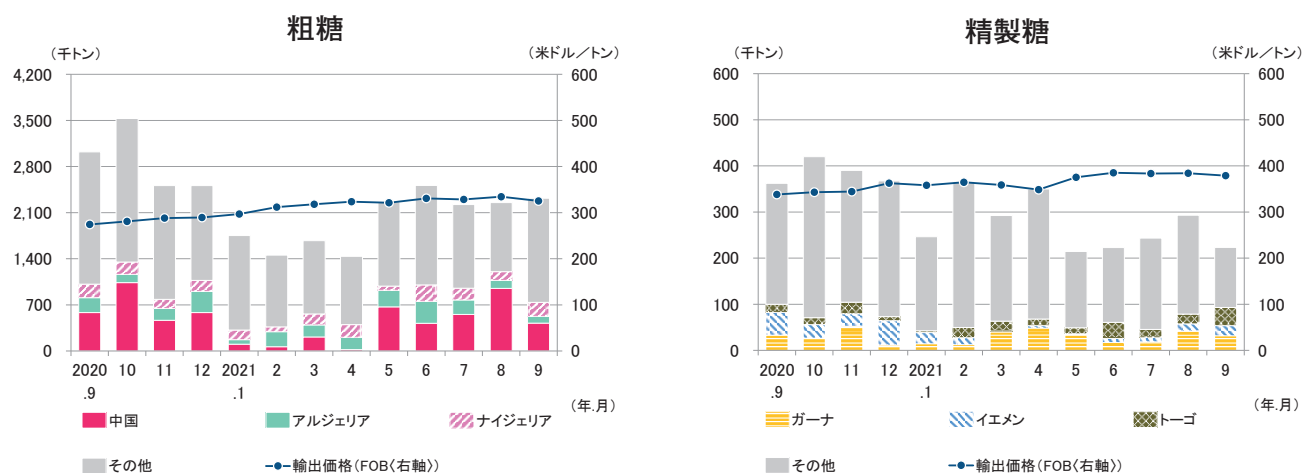
年度		2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (9月予測)	2021/22 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		8,649	8,599	8,702	8,687	8,687	▲ 0.2 %
サトウキビ生産量		620,832	642,677	657,162	569,000	570,000	▲ 13.3 %
砂糖	生産量	31,225	31,804	44,597	37,880	37,990	▲ 14.8 %
	輸入量	3	2	2	2	2	▲ 18.7 %
	消費量	10,635	10,842	10,996	11,021	11,021	0.2 %
	輸出量	21,017	20,321	34,042	26,897	27,012	▲ 20.7 %
	期末在庫量	1,889	2,532	2,093	3,304	2,052	▲ 2.0 %
	期末在庫率	6.0	8.1	4.6	8.7	5.4	0.7ポイント増

資料：LMC International「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2021」

注1：2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）ブラジルの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：国・地域別の数値は、直近13カ月の輸出量（累計）上位3カ国を表示。

インド

2021/22年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：500万ha（前年度比2.3%増）
生産量：4億2317万トン（同5.3%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：3450万トン（同3.2%増）
輸出量：763万トン（同9.0%減）

2021/22年度の砂糖生産量はやや増加し、 輸出量はかなりの程度減少する見込み

2021/22年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、500万ヘクタール（前年度比2.3%増）とわずかに増加すると見込まれる（表3）。主産地の降雨量は平年並みまたは平均を上回っており、生育状況は順調であることから、サトウキビ生産量は

4億2317万トン（同5.3%増）、砂糖生産量は3450万トン（同3.2%増）とともにやや増加すると見込まれる。輸出量は、砂糖の国際価格が堅調な状況下において、国内製糖業者はさらなる国際価格の上昇を期待して今年度後半の輸出契約を見極めていることから、763万トン（同9.0%減）とかなりの程度減少すると見込まれる。

表3 インドの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

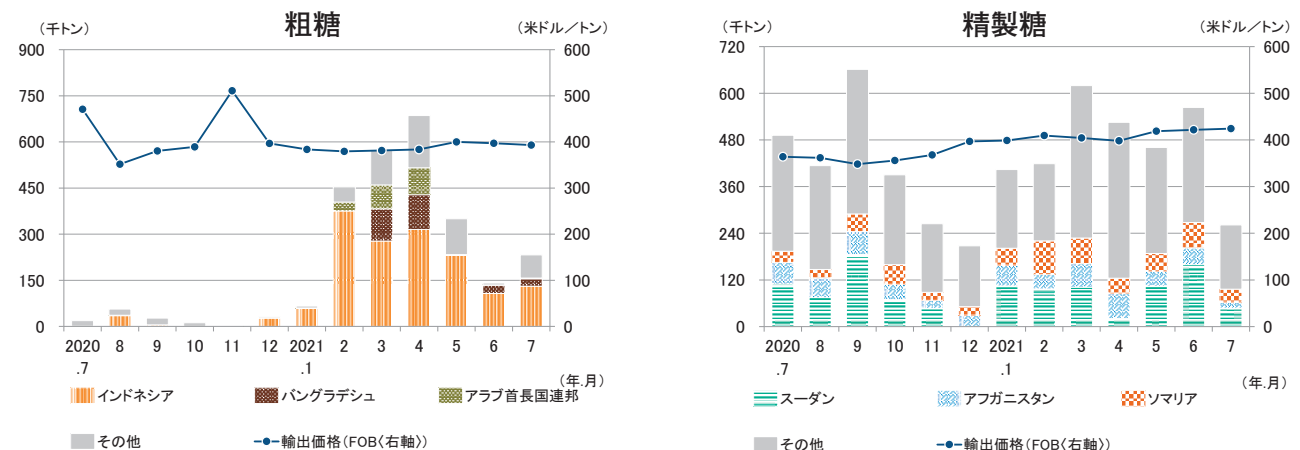
年度	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (9月予測)	2021/22 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	4,960	4,642	4,888	5,001	5,001	2.3%
サトウキビ生産量	404,528	369,637	401,983	423,166	423,166	5.3%
砂糖	生産量	35,798	29,437	33,426	34,504	3.2%
	輸入量	664	1,687	1,022	432	▲ 52.4%
	消費量	27,540	27,108	28,404	28,680	1.0%
	輸出量	5,483	8,254	8,384	8,061	▲ 9.0%
	期末在庫量	14,962	10,724	8,383	6,931	▲ 15.7%
	期末在庫率	45.3	30.3	22.8	18.9	3.3ポイント減

資料：LMC International「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2021」

注1：2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：国・地域別の数値は、直近13カ月の輸出入（累計）上位3カ国を表示。

中国

2021/22年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：116万ha（前年度比0.6%増）

生産量：7475万トン（同1.6%増）

【てん菜】

収穫面積：17万ha（同27.1%減）

生産量：883万トン（同28.7%減）

【砂糖（甘しや糖およびてん菜糖）】

生産量：1094万トン（同5.1%減）

輸入量：577万トン（同26.0%減）

2021/22年度の砂糖生産量はやや減少し、輸入量は大幅に減少する見込み

2021/22年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、116万ヘクタール（前年度比0.6%増）とわずかな増加が見込まれる（表4）。サトウキビ生産量は、主産地である広西チワン族自治区や雲南省の天候が良好であるため、7475万トン（同1.6%増）とわずかに増加すると見込まれる。一方、同年度のてん菜の収穫面積は、トウモロコシへ転作する農家の増加により^{（注）}、17万ヘクタール（同27.1%減）と大幅に減少し、てん菜生産量も、883万トン（同28.7%減）と1000万トンを下回ると見込まれる。

砂糖生産量は、てん菜糖生産量の減少を受けて1094万トン（同5.1%減）とやや減少すると見込まれる。輸入量は、前年度の輸入によって積み増された国内の余剰在庫が政府によって放出される可能性があり、これは輸入糖の需要を低下させることから、577万トン（同26.0%減）と大幅に減少すると見込まれる。

（注）同国では、アフリカ豚熱からの回復による豚飼養頭数の増加を受けて、飼料用トウモロコシなどの需要が高まりを見せている。詳細は、2021年6月17日付海外情報「中国農業展望報告（2021－2030）を発表（飼料編）（中国）」（https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_002967.html）を参照されたい。

表4 中国の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

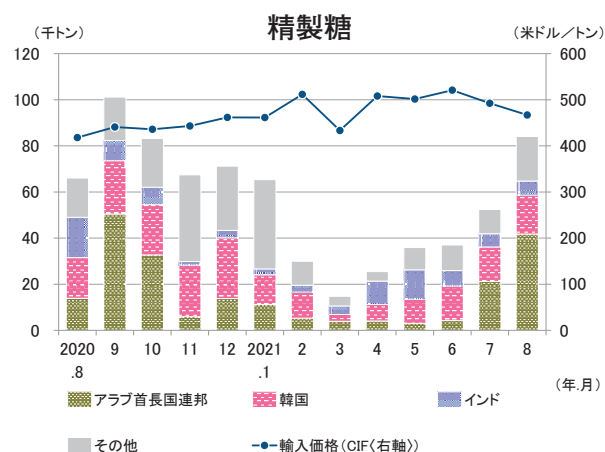
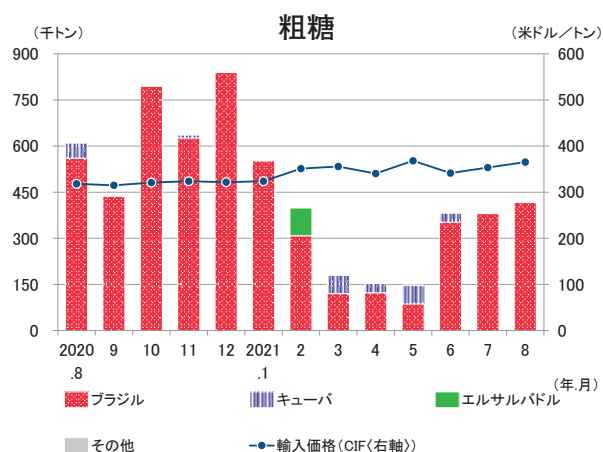
年度		2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (9月予測)	2021/22 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		1,219	1,176	1,157	1,164	1,164	0.6%
サトウキビ生産量		78,590	76,231	73,600	74,748	74,748	1.6%
てん菜収穫面積		243	213	231	169	169	▲ 27.1%
てん菜生産量		11,670	10,900	12,380	8,831	8,831	▲ 28.7%
砂糖	生産量	11,640	11,258	11,530	10,942	10,942	▲ 5.1%
	輸入量	5,053	6,684	7,792	5,625	5,768	▲ 26.0%
	消費量	16,522	16,414	16,849	16,849	16,849	0.0%
	輸出量	210	192	154	215	211	37.6%
	期末在庫量	11,233	12,570	14,890	13,949	14,541	▲ 2.3%
	期末在庫率	67.1	75.7	87.6	81.7	85.2	2.3ポイント減

資料：LMC International「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2021」

注1：2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖（粗糖・精製糖別）の輸入量および輸入価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：国・地域別の数値は、直近13カ月の輸入量（累計）上位3カ国を表示。

E U

2021/22年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：146万ha（前年度比0.9%減）

生産量：1億936万トン（同10.9%増）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1703万トン（同12.5%増）

輸出量：134万トン（同8.2%増）

2021/22年度の輸出量は、かなりの程度増加する見込み

2021/22年度（10月～翌9月）のてん菜の収穫面積は、減少傾向の継続が予測される中、146万ヘクタール（前年度比0.9%減）とわずかな減少が見込まれる（表5）。てん菜生産量は、干ばつの影響を受けた過去2年に比べ、今期は生育期間の降雨量が多かったことを受けて、1億936万トン（同10.9%増）とかなりの程度増加すると見込まれる。砂糖生産量は、てん菜の増産を受けて1703万トン（同12.5%増）とかなり大きく増加すると見込まれる。輸出量は、砂糖生産量の増加に伴い、134万トン（同8.2%増）とかなりの程度増加すると見込まれる。

オランダの政府政策学術評議会、砂糖税の導入やアルコール飲料の値上げを提言

オランダの政府政策学術評議会（WRR）は、将来的に国民の健康状態を改善し、医療費を削減するため、糖類を含む飲料への課税（いわゆる砂糖税）の導入やアルコール飲料の値上げなどの提言を盛り込んだ報告書を公表した。

同報告書によると、現在の傾向からの試算では、2060年までに医療分野で働く人の数は2倍になり、人口1人当たりの医療費が年間1万6000ユーロ（210万円：1ユーロ＝131円^{（注）}）になると試算されている。このため、同国の医療費を抑制し、健康的な生活を促進するための政策を早急に導入するよう提言している。具体的には、砂糖税の導入、食品中の塩分の削減、アルコール飲料の販売許可証を持つ店舗数の上限設定、アルコール飲料の最低価格の設定などが挙げられている。

オランダ政府は、すでに一部の対策を講じており、特に若者のアルコール消費を減らすため、2021年7月1日からスーパーマーケットなどの小売店でのアルコール飲料の割引に上限を設けている。

(注) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「月末・月中平均の為替相場」の月末TTS相場。

表5 EUの砂糖需給の推移

(単位: 千ha、千トン、%)

年度		2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (9月予測)	2021/22 (10月予測)	前年度比 (増減率)
てん菜収穫面積		1,599	1,517	1,476	1,459	1,462	▲ 0.9%
てん菜生産量		104,192	110,059	98,648	108,171	109,355	10.9%
砂糖	生産量	17,095	16,964	15,138	17,034	17,027	12.5%
	輸入量	2,349	2,230	1,888	2,033	1,814	▲ 3.9%
	消費量	17,546	17,118	16,898	17,283	17,293	2.3%
	輸出量	2,391	1,436	1,238	1,404	1,340	8.2%
	期末在庫量	1,706	2,346	1,236	1,657	1,445	16.9%
	期末在庫率	8.6	12.6	6.8	8.9	7.8	0.9ポイント増

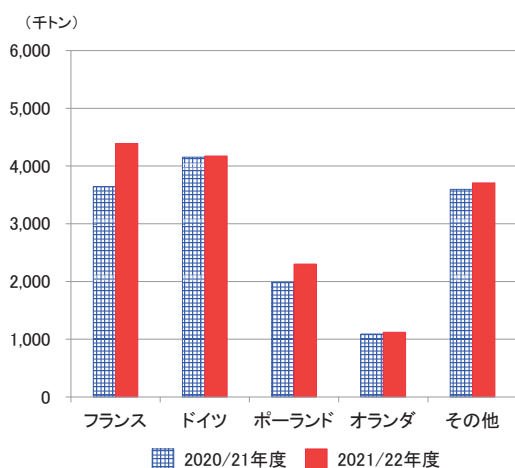
資料: LMC International「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2021」

注1: 2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2: 期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) EUの砂糖生産見通しおよび国別の生産割合 (2021年9月時点)

EUの砂糖生産見通し

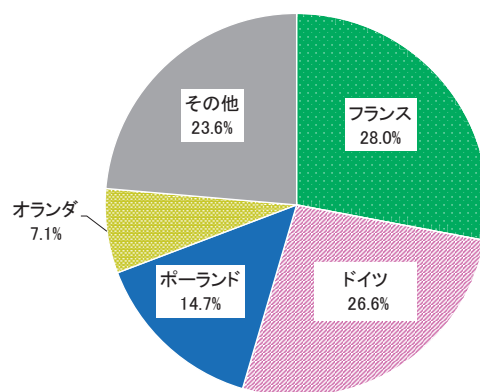


資料: 欧州委員会

注1: 精製糖換算。

注2: 2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度は予測値。

国別の生産割合 (2021/22年度)



資料: 欧州委員会

4. 日本の主要輸入先国の動向（2021年10月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖〈HSコード1701.14-110〉および甘しや糖・その他〈同1701.14-200〉の合計）の主要輸入先国は、豪州およびタイで、2020年の主要輸入先国ごとの割合を見ると、豪州が86.6%（前年比5.2ポイント増）、タイが10.5%（同8.1ポイント減）となっており、2カ国でほとんどを占めている（財務省「貿易統計」）。

豪 州

2021/22年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比1.2%減）

生産量：3067万トン（同1.5%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：419万トン（同2.1%減）

輸出量：314万トン（同6.4%減）

2021/22年度の砂糖生産量は、わずかに減少する見込み

2021/22年度（4月～翌3月）のサトウキビの収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比1.2%減）とわずかに減少すると見込まれる（表6）。サトウキビ生産量は、3067万トン（同1.5%減）とわずかに減少すると見込まれる。

砂糖生産量は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大による都市封鎖や主力製糖工場での故障などによる稼働率の低下を受けて収穫作業に遅れが出るなどの影響により419万トン（同2.1%減）とわずかに減少すると見込まれる。輸出量は、在庫量の減少を背景に、314万トン（同6.4%減）と依然減少傾向が続くと見込まれている。

表6 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (9月予測)	2021/22 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	379	364	354	350	350	▲ 1.2 %
サトウキビ生産量	32,493	30,044	31,132	31,035	30,666	▲ 1.5 %
砂糖	生産量	4,717	4,293	4,297	4,190	▲ 2.1 %
	輸入量	18	16	15	15	48.5 %
	消費量	1,057	1,056	1,036	1,062	2.5 %
	輸出量	3,562	3,449	3,359	3,253	▲ 6.4 %
	期末在庫量	958	763	660	671	0.0 %
	期末在庫率	20.7	16.9	15.0	15.5	0.7ポイント増

資料：LMC International「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2021」

注1：2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

タイ

2021/22年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：149万ha（前年度比0.2%増）

生産量：9250万トン（同38.8%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：1061万トン（同35.3%増）

輸出量：781万トン（同2.2倍）

2021/22年度の輸出量は、前年度から大幅に回復する見込み

2021/22年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、種苗の不足^{（注）}やキャッサバなどの他作物との競合により、149万ヘクタール（前年度比0.2%増）と前年並みで推移すると見込まれる（表7）。サトウキビ生産量は、前年度が干ばつの影響を大きく受けた中、主産地の降雨量が平年並みまで回復し、単収が大きく改善することで、9250万トン（同38.8%増）と大幅に増加すると見込まれる。

砂糖生産量は、サトウキビ生産量の大幅な回復を受けて1061万トン（同35.3%増）と大幅に増加すると見込まれる。輸出量も、記録的な不作となった前年度からの反動を受けて、781万トン（同2.2倍）と大幅に回復し、前年度比で倍増する状況となることが見込まれる。

（注）LMCは種苗不足の要因に、近年の収穫面積や単収の減少を挙げている。

ベトナム商工省、タイ産砂糖の貿易救済措置の回避について調査を決定

ベトナムサトウキビ・砂糖協会（VSSA）と同国内の製糖会社は、貿易救済措置（アンチダンピング税と補助金相殺関税）の対象となるタイ産砂糖が、第三国を経由してベトナム国内に流通しているとして、証拠を付した嘆願書を同国商工省（MOIT）へ提出していた。これを受けてMOITは9月21日、タイ産砂糖に関する貿易救済措置の回避について調査することを決定した。

タイ産砂糖輸入の急増を受けてMOITは、2021年6月15日からタイ産砂糖に対しアンチダンピング税と補助金相殺関税を正式に課していた。同国税関の輸入データによると、タイ産砂糖に対する貿易救済措置の検討を開始し、アンチダンピング関税の暫定発動による影響が出る2020年10月^{（注）}から2021年6月までにASEAN加盟の5カ国（ラオス、カンボジア、インドネシア、マレーシア、ミャンマー）からの砂糖輸入量は52万7200トン（前年同期：10万7600トン）と急増した。一方で、同期間のタイからの砂糖輸入量は、59万5000トン（同95万5500トン）と前年同期比約38%の減少となっている。

（注）ベトナム政府は、2021年2月にタイ産砂糖に対してアンチダンピング税を暫定発動した。これにより、この発動日の90日前となる2020年11月以降に輸入されたタイ産砂糖に対し、遡及して当該暫定税率が適用されることとなった。

表7 タイの砂糖需給の推移

(単位: 千ha、千トン、%)

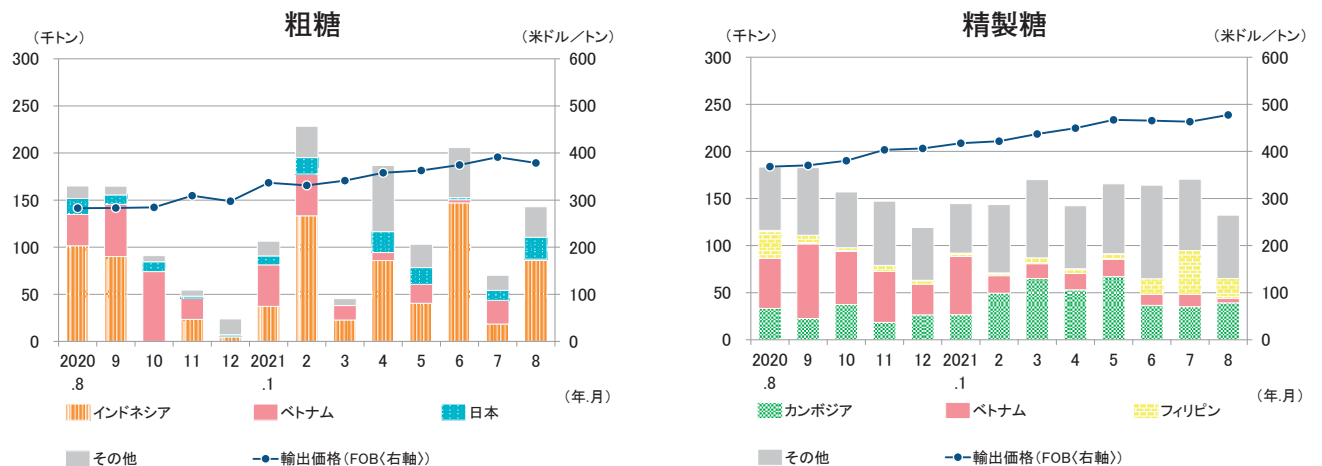
年度		2018/19	2019/20	2020/21	2021/22 (9月予測)	2021/22 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積		1,913	1,714	1,485	1,427	1,489	0.2%
サトウキビ生産量		130,970	74,893	66,659	84,000	92,500	38.8%
砂糖	生産量	15,457	8,807	7,840	9,696	10,608	35.3%
	輸入量	4	59	58	3	3	▲ 94.8%
	消費量	3,737	3,773	3,700	3,694	3,521	▲ 4.8%
	輸出量	10,113	8,162	3,546	7,195	7,814	2.2倍
	期末在庫量	7,899	4,830	5,483	4,165	4,759	▲ 13.2%
	期末在庫率	57.0	40.5	75.7	38.3	42.0	33.7ポイント減

資料: LMC International 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2021」

注1: 2019/20年度および2020/21年度の数値は推定値、2021/22年度の数値は予測値。

注2: 期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料: 「Global Trade Atlas」

注1: HSコード1701.14 (粗糖) および1701.99 (精製糖) の数値。

注2: 国・地域別の数値は、直近13カ月の輸出量 (累計) 上位3カ国を表示。